

# みなとかまいし 地区会議だより

【平成27年11月10日発行 第10号】

みなとかまいし地区会議は、市中心部の町内会等学校などの団体で組織し、地域と行政との協働による地域課題の解決に取り組んでいます。

【発行】みなとかまいし地区会議  
議長 高橋 松一

【事務局】釜石地区生活応援センター  
電話22-0180 FAX22-6002

## 平成27年度 地域会議要望

各町内会から出された要望事項を運営委員会で協議し、次の22項目を今年度の要望事項として取りまとめ、釜石市長へ提出しました。

### 課題No.1【鳥谷坂道路の河川の安全設備の整備】(天神町町内会)

河川に安全施設(装置)がしていないので、①人の通行時(特に夜間)川に落ちる恐れがある。  
②車両の通行と交差にたいへん危険である。  
①河川に蓋を設置する。②道路側に落下防止のガードレールとかガードロープを設置する。  
以上対応をしてほしい。



### 課題No.2【鹿の被害対策】(天神町町内会、大渡町町内会)

鹿の出没により家庭樹木、野菜、果実の被害と国・県・市道で車両との危険状態が再三発生している。  
歩道は勿論のこと車道まで出るため、交通事故発生原因にもなっているため、駆除の必要がある。  
対策をお願いする。(東部地区全域で考えてほしい。)



### 課題No.3【駒木不動沢砂防ダム整備】(駒木不動沢町内会)

県道から町内に流れる沢水が100ミリを超えると、沢にあふれて傾斜地を流れあふれて法面の土石流が流れる。山津波が心配である。  
駒木不動沢に砂防ダムを作ってもらいたい。



### 課題No.4【大只越町日ヶ沢団地に至る道路改良】(日ヶ沢団地町内会、大只越町2丁目町内会)

長年の懸案事項であり、防災体制の整備に不可欠である。道路の拡幅が一向に進まない。  
担当課長から、地権者が家屋を解体するとの言質を得たので解体後、道路の拡幅工事を実施するとの話があったが、その後、解体工事が進まず現在に至っている。  
早急に解体をうながし拡張工事を実施してほしい。



### 課題No.5【大只越町日ヶ沢団地に至る道路の転落防止設備整備】(大只越町2丁目町内会)

居住家屋の撤去後、道路と敷地面に2mほどの落差が生じている。  
現在は、仮のロープを張って表示しているが、歩行者と乗用車の転落防止策が必要である。

### 課題No.6【行政指導による町内会の体制づくり】(只越町町内会)

3.11の震災により、従来の町内会組織及び活動が停止又は不十分となり、このままでは、被災地の町内会組織が解散に追い込まれる状況にある。  
町内会は、自主組織であるが市にとっても地域にとっても、必要不可欠な組織である。  
従って、みなとかまいし地区の実態を調査の上、行政指導による町内会の体制づくりと、実態に対応した支援策を早急に進めて頂きたい。

### 課題No.7【復興住宅と町内会の係りについての行政指導】（只越町町内会、大町町内会）

みなとかまいし地区には、14ヶ所の高層の復興住宅が計画されている。各復興住宅には、全て自治会を置くことされている。従って、震災により弱体化している地域町内会との係りや役割についての方針が不明確である。

市では、国の復興方針により多額の復興交付金を活用して、次々に復興住宅が建設されている。しかし、被災地の町内会組織が不安定のままに復興住宅と同時に自治会を組織し、町内会との行政指導の無いまま進行すれば、益々、町内会員が減少し、町内会の運営や活動が出来なくなる恐れがあるため、早急かつ適切なる行政指導を切望する。



### 課題No.8【土石流対策と市街地の排水処理対策】（只越町町内会、鈴子町町内会）

現在、みなとかまいし地区では盛んに埋立や盛土が行われている。今後の異常気象を考えると、何よりも土石流対策に市街地の排水処理対策が急がれる。

みなとかまいし地区で盛んに進められているが、最近の異常気象にも、大雨洪水災害などを考えると、大量埋立や盛土が安定するには数十年かかるため、大津波災害も心配であるが、むしろ毎年発生する災害による各地の埋立及び盛土の地盤沈下、地割れ、土石流などの災害が心配であるため、それらの事前対策が急がれる。



### 課題No.9【鈴子町防犯灯取替え】（鈴子町町内会）

国道沿いの防犯灯を昨年度1基取替え済みであるが、老朽化している防犯灯がまだあるので、今後も予算があれば引き続き取替えをお願いしたい。

